

若手農業経営者の育成を 府などが農大校で講座開講



が12人とな
った。地域
別では中丹
地区が7
人、丹後と
南丹各地区
が6人、京
都市以南が
3人。

開講式で
は、初めに

府内で農業に従事す
る40代までの人を対象
にした「京都若手農業
経営者塾」が26日、位
田町の府立農業大学校
で開講した。写真。

府内で現在、農業に
専従している40歳未満
の人は550人。府は、
意欲ある若手農業者の
経営を向上させる支援
策の一環として同塾を
開講させた。

受講申し込みがあっ
たのは30代を中心にし
た22人。そのうち農業
を始めて5年以内の人

府農林水産部の安本洋
一技監が府内の農業生
産法人や若手農業者の
現状などについて説明
したあと、受講者に対
して「この塾で学んだ
ことを経営に役立てる
とともに、受講者同士
の人脈も作ってほし
い」と呼びかけた。

同塾を府と主催する

一般社団法人アクリフ
ユーチャージャパンの
戸山章弘事務局長のあ
いさつや講座全般の概
要説明のあと、農業ビ
ジネスを展開している
株式会社こと京都(京
都市)と株式会社社若
園芸(城陽市)の両社
の社長が講義した。

同塾は来年3月まで
に6回行われ、最終日
は受講生が一人ひとり
作成した事業計画を発
表する。【細見仁史】